

一般財団法人 有本積善社 第 53 回番組審議会議事概要

- 1 開催年月日：令和 5 年 2 月 20 日（月）16：00～17：10
- 2 開催場所：京都府舞鶴市字円満寺 158-6 西市民プラザ 2 階 市民活動団体活動室
- 3 委員の出席：
委員総数：7名 出席委員数：4名
出席委員の氏名：水嶋純作、山内茂樹、今安博和、楠崇智
欠席委員の氏名：尾関善之、山下美晴、松井恭子、
放送事業者側出席者名：ジェネラルマネージャー 時岡浩二
技術チーフ 上田秀篤

4 議題

(1) 報告事項

- ① 1/29（日）告示、2/5（日）投開票の舞鶴市長選挙関連
 - ・近年の選挙における若者の投票率が低いことから、10代・20代の若者の政治意識向上と投票率向上を目指し、舞鶴の未来を考える若者参加型の番組「10代・20代 舞鶴未来対談」を放送した。18分番組7本、30分番組1本の計8本制作し、1/24（火）～2/5（日）に計40回放送した。舞鶴在住の10代・20代の若者が見る舞鶴の現状や今後の政治に期待することを語る番組。このうち30分番組は青年会議所主催の市長候補者による公開討論会動画を見ての感想を中心に語った。
 - ・1/28（土）には上記番組の収録模様取材に朝日新聞東京本社編集委員が来局、市長選後の2/13（月）にも再度来局して「10代・20代 舞鶴未来対談 特別編～次期市長との対談」を取材した。全国版教育面に掲載される（3/7・14の予定）。この特別編は18分ずつの前半と後半にわけて2/15（水）～2/19（日）に放送した。
（本日の審議番組は、市長選前・当日の2/4～5に放送したもの）
 - ・2/5（日）の市長選当日は16時から投票率速報を随時割込放送し、21:00～23:00には投開票速報番組を編成した。開票所の東体育館と随時中継で結び、22:01に1回目の開票速報を、22:19に2回目の開票速報（終了）を、22:44には当選者の選挙事務所から当選者へのインタビューを生中継で伝えた。
 - ・2/13（月）の晴れのち775に次期市長をゲストに迎え、お話しを伺った。
- ② 昨年11/16（水）に開始した新パーソナリティ候補4名のうち、2名について1/14（土）に終了し、他の2名については引き続き未修分の研修を行っているところ。番組デビューは4月ごろの見込み。さらに、朝の番組を担当するパーソナリティを1/30（月）から募集を開始している。
- ③ 2/13（月）～2/20（月）の平日にFM京都（αステーション）制作の「中丹子育て未来づくり100人会議～子育ては中丹で」という番組を6本放送した。FMいかる、FM丹波、FMまいづるで放送（αステーションDJ秋田美幸が中丹エリア内企業6社を訪問しインタビュー）
- ④ 3月の水曜日8時台の「まいづるモーニングブリーズ」内で、「卒業シーズンスペシャル」として舞鶴出身の日星高校新任教諭と担当パーソナリティによる進学・就職する生徒に対してエールを送る対談番組を放送予定。
- ⑤ 3/14（火）～9/7（木）の毎週火・木曜日の18:30からユネスコ作文受賞者（小中学生）の作品朗読番組（14分番組）を放送予定。
- ⑥ 3/19（日）に西市民プラザ1階ふれあい広場/展示室でミニ四駆レース大会を開催予定（共催：西市民プラザ、協力：舞鶴電脳工作室）。

(2) 番組審議：

- 10代・20代 舞鶴未来対談～若者がみる舞鶴の現状や今後の政治に期待することを語る番組（2/4～5に6回放送）

5 議事の概要

- ① 上記(1)項の報告内容を審議委員に説明。
- ② 上記(2)項の審議番組に対する意見を審議委員各位から聴取。

6 審議内容

【審議番組に対する委員の主な意見】

- ① 今回の市長選を起点にこのような番組がスタートしたのはよい。
- ② 普段から若い人の声を聞く番組を放送するのがよい。一時的なものに終わらせて欲しくない。
- ③ 若い人の意見を聞くのはよい。若い子が何を考えているのかが解ってよかった。政治に関心をもってもらう番組を継続的に作るのがよい。
- ④ 17～18歳の高校生を対象に市議会との対談もセッティングしてもらうのがよい。議員さんも新鮮だろう。現在の台本がある市議会広報番組ではなく、台本なしで自由に対談できる番組を期待する。
- ⑤ 今回の選挙をきっかけに若い人に政治に関心を持ってもらえたのはよい。「どうせ自分達が意見を言っても変わらない」というのが、自分達が意見を言うことで世の中が変わる、ということが今回の選挙結果からわかったと思う。若者に政治への関心を持ってもらうのは大人の責任である。
- ⑥ FMで放送したこのような番組を、学校の校内放送で流すのもいいのではないか。
- ⑦ 中高生や大人だけでなく、高齢者も取り込んで誰もが発言できるような番組が欲しい。

7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

当審議会が出た意見を局内会議で議論した。上記のような意見を踏まえ、今後の番組編成に生かしていくこととした。(令和5年2月23日)

8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

- ① 令和5年2月27日 この審議会議事概要を演奏所事務所に備置き、閲覧できるようにした。
- ② 令和5年2月27日 この審議会議事概要をホームページに掲載した。

9 その他の参考事項

なし

以上